

令和6年度 第3回油化学セミナー
若手研究者による油脂、界面の最前線
— 関東支部 第12回若手研究者奨励賞記念講演会 —

日本油化学会関東支部では、日本油化学会年会で若手研究者により発表された研究の中から、秀逸と考えられるものを関東支部幹事の投票で選出しています。そして、選出した研究の発表者に対して若手研究者奨励賞を授与し、併せて受賞講演をお願いしています。本年も厳正な審査の結果、4名の研究者が選出され、このたび関東支部若手研究者奨励賞記念講演会を開催する運びとなりました。未来に羽ばたく若手研究者の講演を是非お聞きください。

日 時：令和6年12月13日（金）13:00～17:15 （受付開始 12:30～）

会 場：油脂工業会館9階大会議室（〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-11）

主 催：公益社団法人日本油化学会関東支部

プログラム

13:00-13:05 開会の辞

13:05-14:00

1. 「中性子小角散乱法を利用した油脂中の水分子の存在状態観察」

日清オイリオグループ株式会社 技術本部 基礎研究所 井阪 大輔氏

食用油脂には数百 ppm の水分子が含まれているが、その存在状態（クラスター形成 or 単分子分散）は未だ不明である。そこで中性子小角散乱法（SANS）を利用し、油中の水分子の存在状態を観察することを試みた。

14:00-14:55

2. 「調理工程におけるトランス脂肪酸増加に関する新知見 ～硫黄化合物による異性化の促進～」

株式会社ニッスイ 中央研究所 健康基盤研究室 小尾 純志氏

油脂製品は健康への懸念から低トランス脂肪酸へとシフトしたが、調理工程におけるリスクは不明であった。我々は食品中の含硫化合物がトランス異性化を促進することを見出したため、その制御法と併せて紹介する。

14:55-15:10 休憩

15:10-16:05

3. 「小角 X 線散乱および界面レオロジー測定を用いた油/水界面吸着膜の構造解析；エマルション分散安定性との相関」

株式会社池田模範堂 研究所製剤設計グループ 栗原 宏樹氏

油/水界面膜の構造物性解析は、エマルション分散安定性予測の指標となることが期待される。本研究では、小角 X 線散乱解析と界面レオロジー測定、二つのアプローチから油/水界面膜の構造物性解析を試みた。

16:05-17:00

4. 「フェロトキシ誘導に着目した、共役脂肪酸によるがん克服に向けたアプローチ～ α -エレオステアリン酸と抗がん剤の併用効果の検証～」

帝京大学薬学部 毒性学研究室 本間 太郎氏

殺がん細胞効果を有する脂肪酸である α -エレオステアリン酸（ α -ESA）と抗がん剤の併用効果を検証した。 α -ESA との併用により殺がん細胞効果が促進される抗がん剤として、ブレオマイシンを見出した。

17:00-17:10 表彰式
17:10-17:15 閉会の辞
情報交換会 18:00～20:00

申込方法：下記 URL から申し込みフォームへアクセスし必要事項をご記入ください。
セミナー申し込み URL: <https://forms.office.com/r/uXiLMY21w4?origin=lprLink>
(URL は日本油化学会関東支部 HP にも掲載しています。)



(QR コードからも申し込みフォームへアクセスができます。)

申込締切：令和 6 年 12 月 9 日 (月)

参加費 (テキスト代を含む)：当日受付にてお支払いください

日本油化学会正会員：6,000 円、法人会員勤務者：8,000 円、一般：10,000 円、学生：3,000 円

情報交換会：会員・一般：6,000 円、学生：2,000 円 (菜香菜 日本橋店 東京都中央区日本橋 3-13-5 KDX
日本橋 313 ビル 1F)

問合せ先：別府 史章 (北海道大学大学院水産科学研究院)

Email: fbepu@fish.hokudai.ac.jp (◎⇒@)

以上